

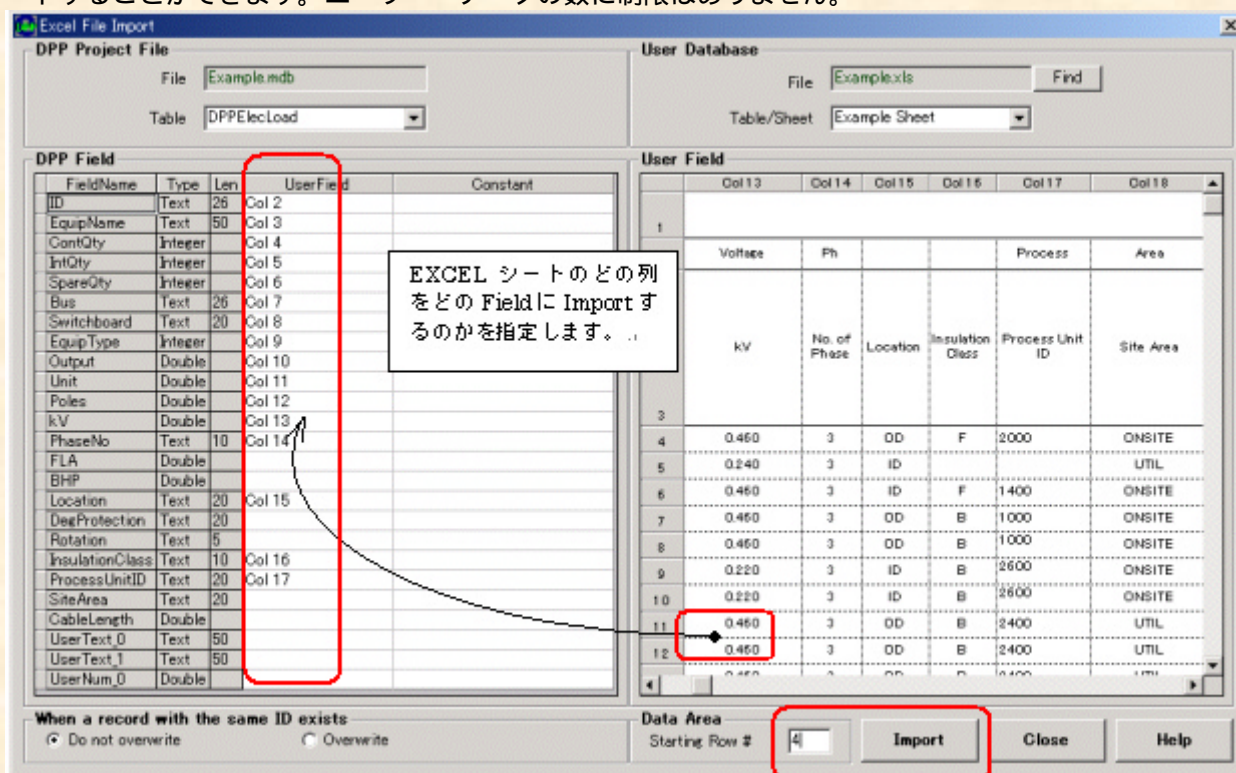
## e-DPP / ETAP-DPP を使いこなそう！

### プロジェクトデータの構築 (トピック #002)

e-DPP はできるだけ簡単に、正確で詳しいプロジェクトデータを構築することを考えて開発されました。そのためいくつかのメニューが用意されています。

#### 1. データ・インポート

e-DPP プロジェクトファイルとユーザー・データ (MS Excel または MS Access File) を、下図のようにマウスによるドラッグ&ドロップで関連付けするだけで、簡単に外部ユーザー・データを e-DPP にインポートすることができます。ユーザー・データの数に制限はありません。



#### 2. データ・フィリング (初期データの一括自動投入)

次に、プロジェクトに共通のデータを定義して、電圧レベルごとの回路方式・短絡容量・接地方式・モータ容量の適用・ケーブルの電圧レベル、モータの定格・構造・付属品・ケーブルの適用、モータやケーブルの特性データなど、エンジニアリングに必要なデータを一気にフィリングします。そのためのメニューとして (1) Project Information, (2) Default Data, (3) Library が用意されています。

国内外の数多くのプラント建設の実績を持つ、エンジニアリング会社各社の技術協力の基に開発されたエンジニアリング・ツール e-DPP を用い、必要なデータをきちんと定義してエンジニアリングを行うことにより、間違いのない、効率の良いエンジニアリングが可能になります。これらの機能を用いて、現場の保守データの管理から運転データの管理まで、幅広い分野への応用が可能です。

問題点・ご要望等をお持ちの方は、お気軽に下記へご連絡ください。

(有) エルテクス設計 亀田

メールアドレス [etap@eltechs.co.jp](mailto:etap@eltechs.co.jp)